

伊勢うどん友の会通信

新春もちもちはふはふ号

2013年1月吉日(1号)

発行・伊勢うどん友の会

新春あけまして

おめでとうございませす！

今年も伊勢うどんのように、ふわっとやさしく、それでいてもちっとした一年を過ごしましょう。

二〇一三年の年明け、みなさまいかがお過ごしでしょうか。お正月は、お節やお雑煮とともに、お腹にやさしい伊勢うどんをたくさん食べたこと存じます。伊勢うどんは今年も、太くて長い幸せを私たちにもたらしとってくれるでしょう。

伊勢うどんの長い歴史の中でも、二〇一三年は大きな節目の年(いや、節はありませんけど)なると思われまます。折からの地方食ブームの中で迎える第六十二回



ひとりひとりの伊勢うどん愛が集まって、やがて大河に！

の伊勢神宮式年遷宮。しかも今年、出雲大社とのダブル遷宮です。あらゆるメディアが伊勢うどんに注目し、いろんな角度から大きく取り上げるのは間違いないありません。さらに、昨年の暮れには京都祇園に「うどんミュージアム」がオープンするなど、うどん全体への注目や、うどん文化を広い視点で見つめようという機運も高まっています。また「二〇一三」は「煮ればらざ」でも読めます。

まさに伊勢うどんの特徴を応援してくれている言葉に他なりません。

さあ、伊勢うどんブームの準備は整いました。次に伊勢うどんを食べるときは、もうもぐとすすりながら、「がんばれよ！」「全国の人たちにかわいがられるんだぞ」「でも、天狗になるなよ」などと激励の言葉をかけてあげてください。

日本初の伊勢うどん連載——「伊勢うどん全国制覇への道」堂々完結！

前号でもお知らせしましたが、クリエイターと読者をつなぐサイト「cakes(ケイクス)」で、二〇一二年十一月から十二月まで、四回にわたって日本初の伊勢うどん連載「伊勢うどん全国制覇への道」が掲載されました。

第三回は「やわらか麺に込められた固い想い！」(十二月十一日公開)、「フィニッシュの第四回は」そしてさらなる飛躍と進化は続く！(二月二十五日公開)。伊勢うどんに真摯に取り組んできた業界や自治体による、今後のますますの発展を目指した動きについて書かせていただきます。

おかげさまで、地元から全国から、伊勢うどん愛に満ちた熱い反響が大量に伊勢うどんパワーはやっぱり伊勢うどんです。第三回と第四回の記事のコピーを同封しましたので、よかったらご覧ください。



cakes(ケイクス) <https://cakes.mu/>

フェイスブックページ「伊勢うどん友の会」、もうすぐ600いいね!



「伊勢うどん友の会」
<http://www.facebook.com/iseudontomonokai>
フェイスブックに登録していない方でも見ていただくことはできます

当会のマスコットキャラクター・ためんどん&ためこ



伊勢うどんに関する話題をきつかけに今日もあたたかいふれあいが続々と！
「伊勢うどん友の会」のフェイスブックページも、おかげさまで立ち上げて半年が経過しました。たくさん「いいね！」を押していただき、日々ますますと成長しています。今年も、さらにすくすくと成長してくれるでしょう。

みなさまからたくさんのお情報いただき、当会からもさまざまな記事を発表して、伊勢うどん関係の雑多な情報に関して、はげつこう世界的にも指折りのところにもまでたどり着いていっているのではないかと自負しています。これからも引き続きかわいがつてやってください。お叱りやご提案も、よろしくお願ひします。

ブログ「伊勢うどん友の会」もごひいきに!



伊勢うどん友の会では、フェイスブックページを元にした同名のブログも運営しています。まだ歩み始めたばかりですが、ブログならではの使い方を徐々に模索していけたらと思っています。そちらも、ぜひのぞいてみてください。ご意見ご要望もお待ちしております。

「伊勢うどん友の会」<http://iseudontk.exblog.jp/>

うどん界騒然！ 会場は感動の嵐！ 「伊勢&山田連合」がここに誕生！！

前号に引き続き、見出しに「嵐」という文字が登場していますが、あの嵐とは関係ありません。単にサブリミナル効果を狙った小技です。

二〇二二年十一月二三日、阿佐ヶ谷ロフトAは満員の観客で埋め尽くされていました。開催されていたのは「第一回山田うどん祭。北尾トクさんとえのきどいちろうさんの共著『愛の山田うどん』廻つてくれ、俺の頭上で!』の出版を記念したイベントです。山田うどんとは関東のロードサイドでよく見かけるうどんチェーンで埼玉県民のソウルフード。その独特の魅力にすっかりハマッたふたりが、山田に迫り、山田を語った本です。

うどんと聞いたらじつとしているわけにはいきません。私(石原)も、勇んで駆けつけました。すると、イベントの中盤「ステージ」から客席にいる私を呼ぶ声が！ 気を利かせた北尾さんの前、伊勢うどんのことを語らせてあげよう、マイクを談義。「伊勢は昔、山田と呼ばれていたんですよ」といった不思議な因縁を確認しつつ、「ゴシ」を旗印に掲げる讃岐勢力に対抗すべく、「伊勢&山田連合を結成しま



河出書房新社から1,470円で絶賛発売中! 山田うどんの店舗でも買えます

しよう!」ということで見が一致しました。会場からも割れんばかりの拍手。そして苦笑い。ともあれ伊勢うどんのブレイクを後押ししてくれる頼もしい仲間ができました。もしかしら、山田うどん(直営店)一六四店舗のメニューに、伊勢うどんが加わる日も近いかも!?



(勝手にこんなことしてしまいましたが、伊勢うどん関係者のみなさま、どうかご海容ください)

「伊勢&山田連合」山田&伊勢連合から「おぼろ」と決めていません。場所や相手によって使い分けたいと思います。ゆる〜く恐縮です(撮影 小野田麻里)

京都祇園に「うどん博物館」が誕生! 日本中のうどんを目と舌で楽しめませう

ああ、うどんを愛する者のひとりとして、喜びと感動を禁じえませぬ。うどんにスポットを当て、うどんだけを集めた博物館ができるなんて!

二〇二二年十二月二二日朝、「うどん博物館」の前には全国から集まった(推測)熱烈なうどんファン(推測)が長い列を作っていました(本音)。根っからのうどん好きが高じたこの博物館を作ってしまったという代表理事の高屋友明さんは、「うどんを日本を元気にしたい。ここで今まで知らなかったうどんを食べ、それをきっかけに地元を訪れてもらえたら」と語ります。料亭を改装した二階建ての建物は、和風情緒たつぷりで、うどんにとってもマッチしています。



この日は、我らが伊勢うどんをはじめ、讃岐うどん(香川)、おしぼりうどん(長野)、耳うどん(栃木)など、全国二四種類のうどんをその場で食べることができました。きつとこれから、京都の新名所、うどん好きの聖地になっていくことでしょう。入場無料、年中無休です。



いよいよテープカット。左からふたり目が高屋さん



全国各地のうどんが一堂に! 見ているだけでヨダレが……

新年のご挨拶

おかげさまで、伊勢うどん友の会も二年目を迎えることができました。二〇二三年も、どうぞよろしくお願いいたします。

式年遷宮で伊勢にいつも以上に注目が集まる今年は、伊勢うどんが一気にブレイクする絶好のチャンス! 当会も微力ではありますが、ある時は大胆に、ある時は地道に、伊勢うどんを今まで以上に熱く応援していきたいと思っております。みなさまと伊勢うどんに、太くて長い幸せが、からまり合ってもたらされますように。

伊勢うどん友の会
代表 石原壮一郎

【プロフィール欄でアピール大作戦!】



読みづらくて恐縮ですが、雑誌のプロフィール欄でさりげなく(?) 当会の存在を告知しています。上の「レタスクラブ」の連載コーナーでは2行にわたって友の会の活動について説明。右下は「SPA」、左下は「プレジデント」のコメント記事です。

好評既刊!



「石原壮一郎の最新刊『職場の理不尽』めげないヒント45」(新潮新書 七二四円、岸良裕司さんの共著)好評発売中!

働かない上司、やる気のない後輩……Q&A形式で、会社に行くのがちょっとだけ楽になる大人の処方箋を伝授! 朝日新聞「be」で大きな反響を呼んだ連載が一冊に!